

# 令和元年度 企画管理部長「政策宣言」達成状況

企画管理部長 島 木 康 太

## ○ 令和元年度重要事業

事業名	総合計画後期実施計画の見直し及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の改定
目標	総合計画中期実施計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略の検証を踏まえ、総合計画後期実施計画の見直し及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の改定に取り組みます。
年度末達成状況	総合計画後期実施計画の見直しについては、事業の必要性、有効性、緊急性等について検証し、限られた財源を有効に活用するため厳しい事業選択を行いました。また、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略については、国が示した新たな視点を取り入れながら具体的な施策を56事業追加しました。引き続き、人口減少の克服と地域活性化に努めます。
自己評価	後期実施計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略のいずれも各部局と連携を図りながら作業を進めるとともに、限られた財源の中にあっても新たな視点を取り入れ、将来のまちづくりに必要な要素を盛り込みました。引き続き、各施策の検証を行うなど、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら時点修正等を行っていきます。

事業名	行財政改革の推進
目標	公共施設等の再編への理解を一層深めていただくため、地域での説明会等を開催するとともに、第4次行財政改革大綱及び集中改革プランの策定に向けた作業に取り組むなど、着実に行財政改革を進めます。
年度末達成状況	公共施設マネジメントの推進については、各地域において公共施設再編方針の説明及び意見交換会を開催し、市民との課題の共有に努めました。また、昨年9月に策定した第4次行財政改革大綱を踏まえ、さらに行財政改革推進会議の審議を経て、具体的な取組を示す集中改革プランを12月に策定しました。
自己評価	行革は一過性のものではなく継続して取り組むことで一層の効果が生まれるものと考えており、将来を見据えた経営基盤の確立と自立した都市の実現に向け、引き続き行財政改革を着実に推進してまいります。

事業名	庁舎跡地利活用事業の推進
目標	旧新湊庁舎跡地に整備する複合交流施設については、地域の賑わい創出及び活性化に資する拠点施設となるよう、関係団体等と協議を行い、令和2年度早期の完成を目指します。

年 度 未 達 成 状 況	現在、射水商工会議所、射水ケーブルネットワーク（株）及び市職員等で構成する新湊地区まちづくり協議会において複合交流施設の賑わい創出やバスの運行、観光客の利便性の向上やオープニングイベントなど、事業目的ごとに6つの専門部会で協議を行っています。今年2月にはこの施設の名称が「クロスベイ新湊」と決まるなど建設工事に合わせて具体的な事業を協議し、8月頃のオープンを目指しています。
自 己 評 価	クロスベイ新湊は、新湊地区を含めたベイエリアの賑わいや観光拠点の役割に加え、射水市のシンボルとなる施設とするため、様々なアイデアを盛り込みながら準備を進めました。引き続き、隣接地へのホテルの誘致に取り組んでいきます。